

Cluster P2によるコンビケムの検索

2009年08月16日

HelperTex

概要

ClusterP2 は、データベースを構築して、単独プロファイルをデータベースから探し出す事を目的に作成されています。

ではコンビケムのようなデータ群の相関関係をサーチするにはどうするか？

データ群を一時的なデータベースに登録し、その一時データベースの相関を検索すれば実現出来ます。

以下にその方法を説明します。

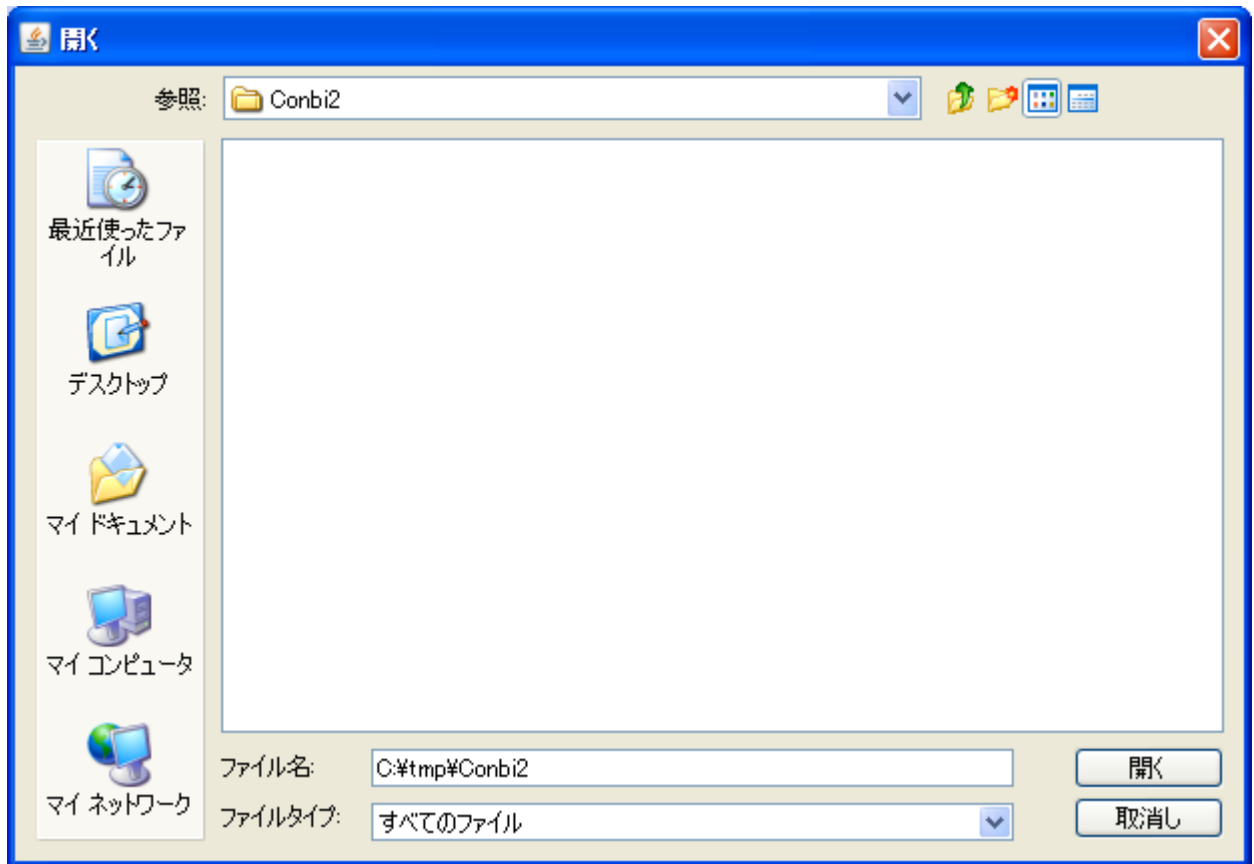
一時データベースの作成

Cドライブに tmp ディレクトリを作成し、その中へデータ群をコピーする。

```
C:\tmp\Conbi2\01.raw
C:\tmp\Conbi2\02.raw
C:\tmp\Conbi2\03.raw
C:\tmp\Conbi2\04.raw
C:\tmp\Conbi2\05.raw
C:\tmp\Conbi2\06.raw
C:\tmp\Conbi2\07.raw
C:\tmp\Conbi2\08.raw
C:\tmp\Conbi2\09.raw
C:\tmp\Conbi2\10.raw
C:\tmp\Conbi2\11.raw
C:\tmp\Conbi2\12.raw
```

データベース作成





一時データのディレクトリ指定



一時データの12ファイルが選択されています。そのまま実行



全ての一時データファイルがデータベースに登録された。

登録された一時データファイルのCluster解析を行う。





一時データベースを指定する。



検索条件

Cluster Condition

測定範囲 範囲制限

3.0 下限 3.0

50.0 上限 50.0

プロフィール処理

平滑化 11

ピークシフト

検索方法

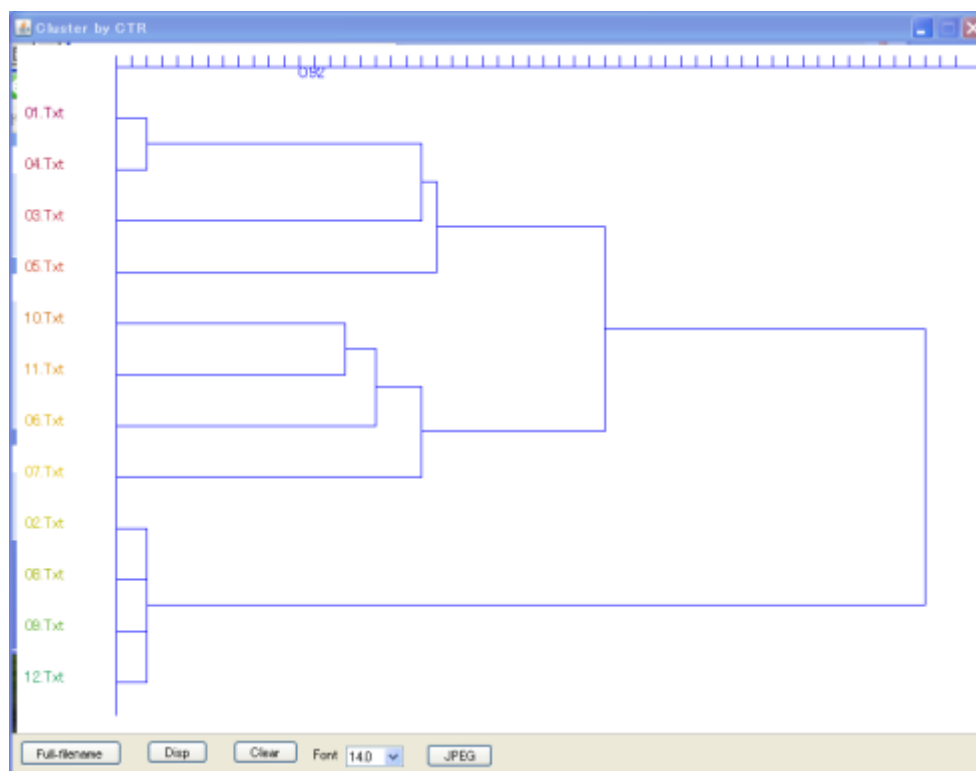
全プロフィール(raw) ヒークプロフィール(peak) 非晶質(back)

分解能

150

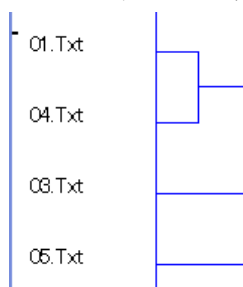
検索開始

検索を開始する。

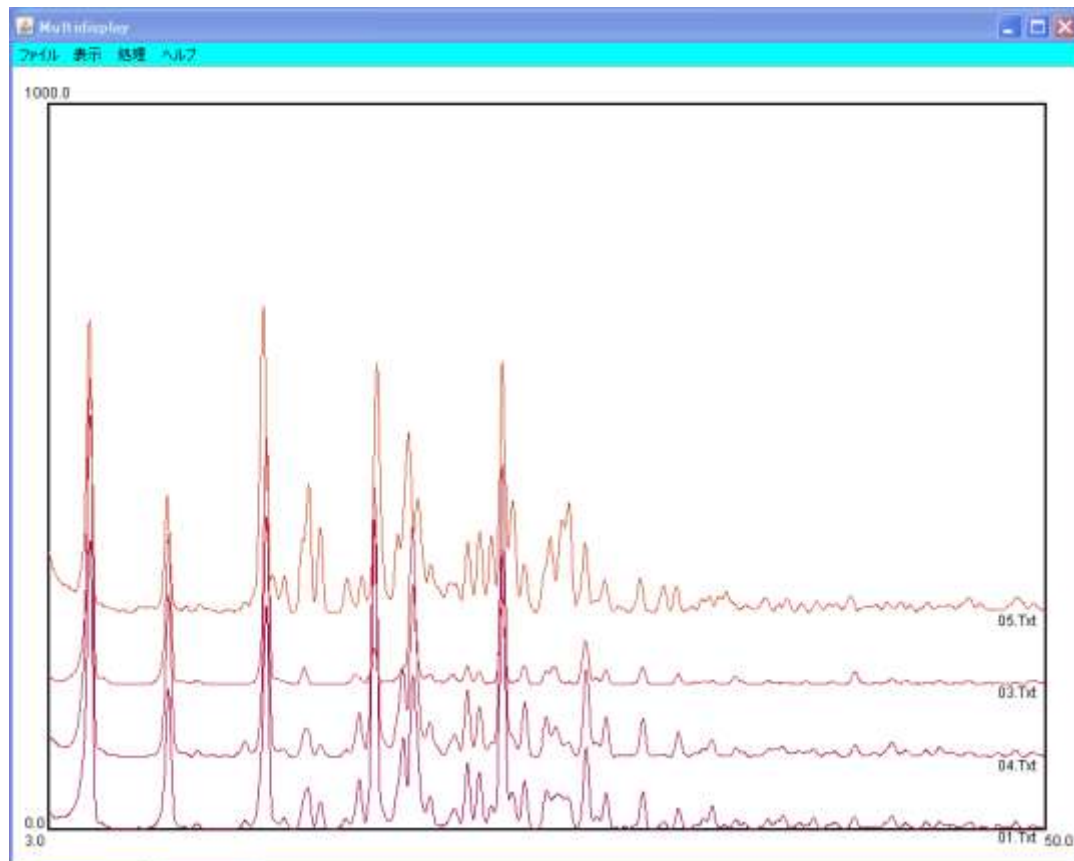


3グループ、あるいは4グループに分かれた結果が表示出来ている。

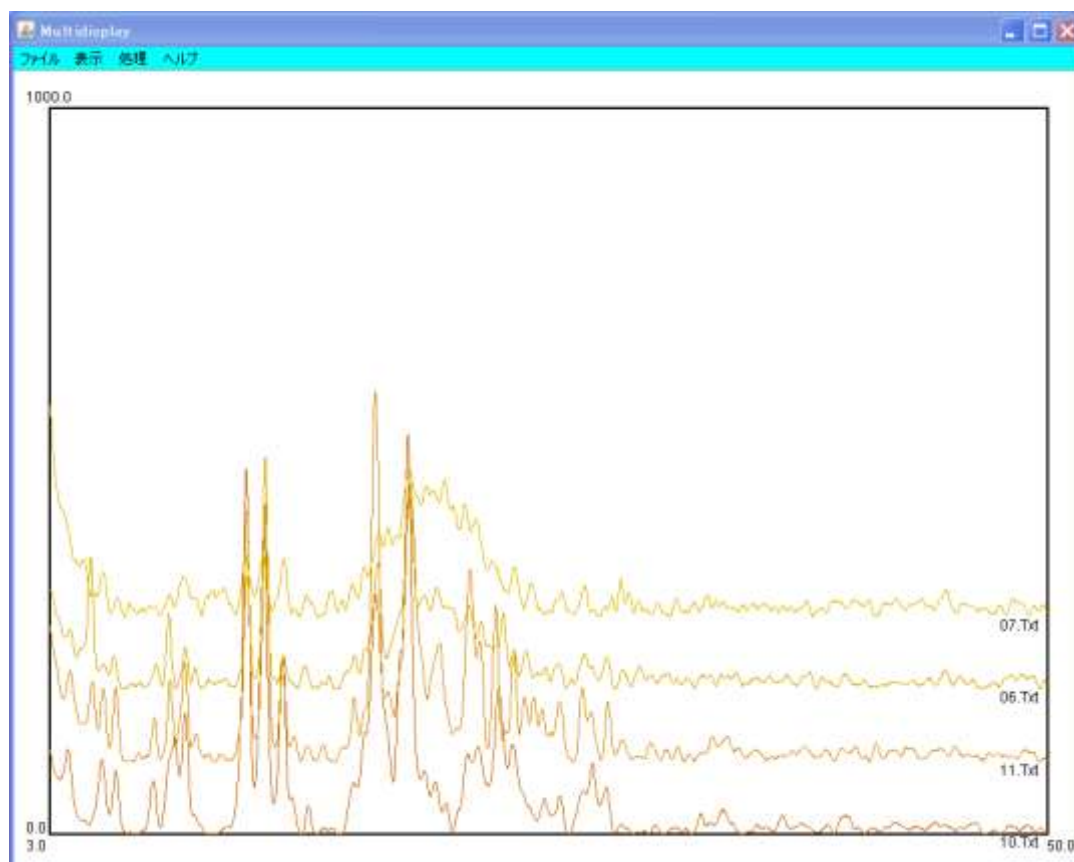
グループ表示はファイル名をクリックして黒くする。



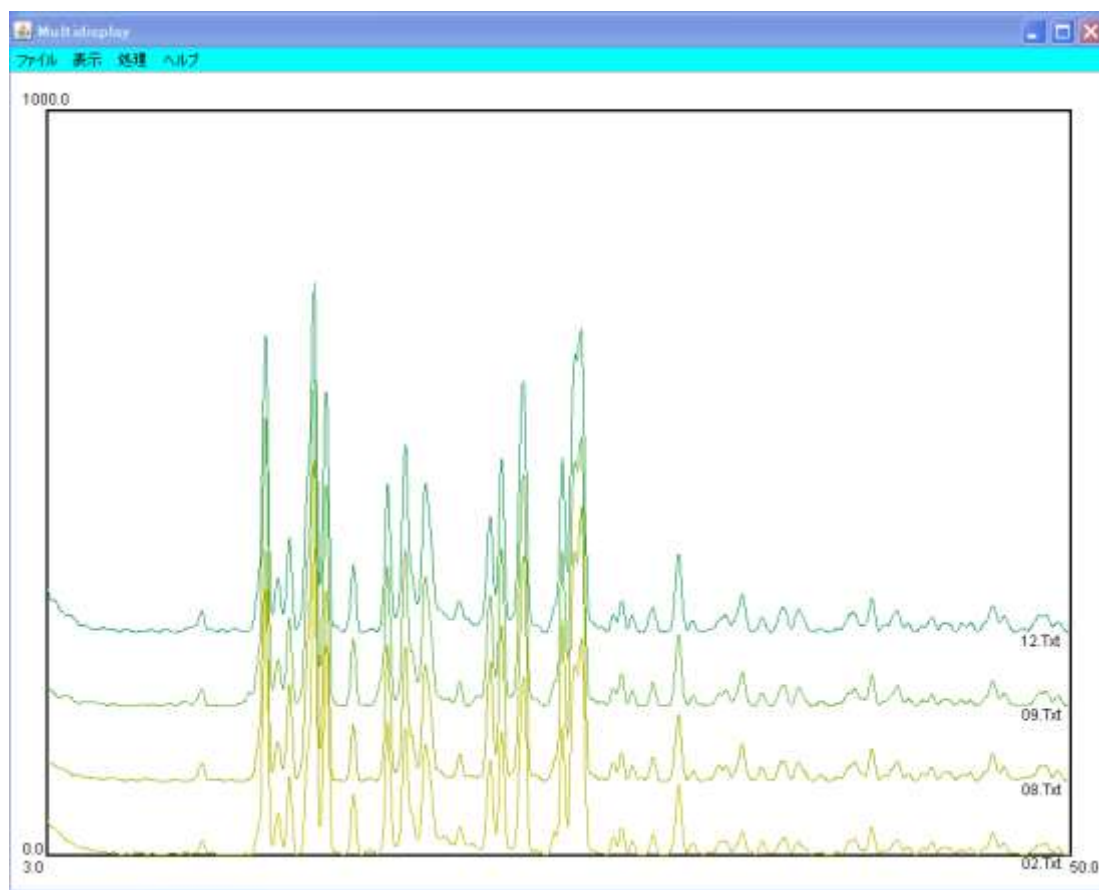
最初のグループをD i s p



2 番目のグループ



3番目のグループ



このように、グループ分けが出来ます。

計算に使った一時データベースは削除する事が出来ます。

